

ケニアの楽しみ方

= ゲーム・ドライブ =

ケニア観光の最大のハイライトは、何といてもサファリカーに乗って国立公園や動物保護区内で野生動物を観察したり写真撮影をするゲーム・ドライブ。

ゲーム・ドライブは、通常、動物の生態に合わせて早朝(6時～8時頃)と日没前(16時～18時頃)に行われる。所要時間は約2時間。

オープントップタイプのサファリカーを使用し、動物の生態を熟知したサファリガイドが、仲間と連絡を取り合い、公園内や保護区内を動物を求めて案内してくれる。原則として車から降りることは禁止されており、また、車の中で突然立ち上がった時、大声を出すなどは危険なので控えること。



昼間は、動物たちは日陰で休んでいることが多いため、ゲーム・ドライブの時間以外にロッジで自由行動となる。テラスで動物ウォッチングをしたり、プールで泳いだり、売店でお土産を買ったり、友人に絵葉書を書いたり。とにかくあくせくせず、のんびりとした時間を過ごすのがお勧め。

[ビッグファイブ]

ライオン、サイ、ゾウ、バッファロー、ヒョウを指し、ビッグファイブと呼ぶ。かつてハンティングが盛んだった頃、特に危険度が高い5つの動物を指してこう呼んでいた。バッファローは比較的どこでも良く目にするが、サイ、ヒョウといった動物はなかなか目にかかることが無いので、見つけれたらラッキー。



= ロッジ =

国立公園などで宿泊するロッジには水洗トイレやシャワー設備が整っているが、シャワーのみのロッジが多く、お湯がぬるめだったりすることがある。また、ロッジによっては自家発電のため、夜間(23時～翌5時頃)は電気が使えなくなり、その代わりに、部屋に備え付けのキャンドルや懐中電灯で夜を過ごす場合もある。

さらには、部屋内には電話がついていない場合がほとんどで、モーニングコールならぬモーニングノックで朝起こされることがしばしば。ホテルスタッフが各部屋を回り、ドアをノックして起こしてくれるのだ(事前にフロントにてホテルスタッフに頼んでおく必要がある)。いずれにせよ、アフリカの自然に囲まれて過ごすからには、都会の便利さを忘れてみるのも一つの楽しみだろう。

= お土産 =

ケニアのお土産には、素朴な手作りの品が多い。代表的なものはマコンデと呼ばれるエボニー(黒檀)の木による繊細な彫刻が有ります。

その他、マサイ族のビーズ・アクセサリーやソープストーンの彫刻などがある。また、ケニア産のコーヒー、紅茶、マカデミアナッツも有名。ロッジの売店など、料金が書かれている所では値引きは難しいが、料金などが書かれていない土産物屋などの場合は、値引き交渉が出来る。

野生動物加工品の取引はケニアの法律により固く禁じられているため、これらの物は絶対に買わないように。

= コリオリ実験 =

ナイロビから北上し、ナニユキの街に入手前で赤道を通る。ここでは、南半球と北半球の渦巻きの違いを体験出来る。

まずバケツに水を張り、マッチ棒をその中に浮かべる。赤道直下では、マッチ棒に動きはないが、そこから北半球側に行くと左回りに、南半球側に行くと右回りに回るといふ。希望者は、この実験を見たという証明書を購入することも出来る。